

川島町一般廃棄物処理施設建設候補地の選定について

1. 川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会における検討結果

学識経験者や町民などで組織された川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会により、評価項目・評価基準の設定をし、現地視察を含む候補地評価を行い、10か所の建設候補地を上位3か所に絞り込んだ。

■上位3か所の建設候補地

10か所の建設候補地 ⇒ ① 長楽
② 下八ツ林
③ 三保谷宿（南）

2. 候補地の検討において重要視する項目

川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会では、川島町の特性を考慮し水害対策を重視すべきとしていた。

また、川島町議会からも「浸水・水害対策に十分配慮すること」、「災害時も安定したごみ処理事業が継続できること」、「地域住民の理解が得られる場所を選定すること」の、3つの意見が付された。

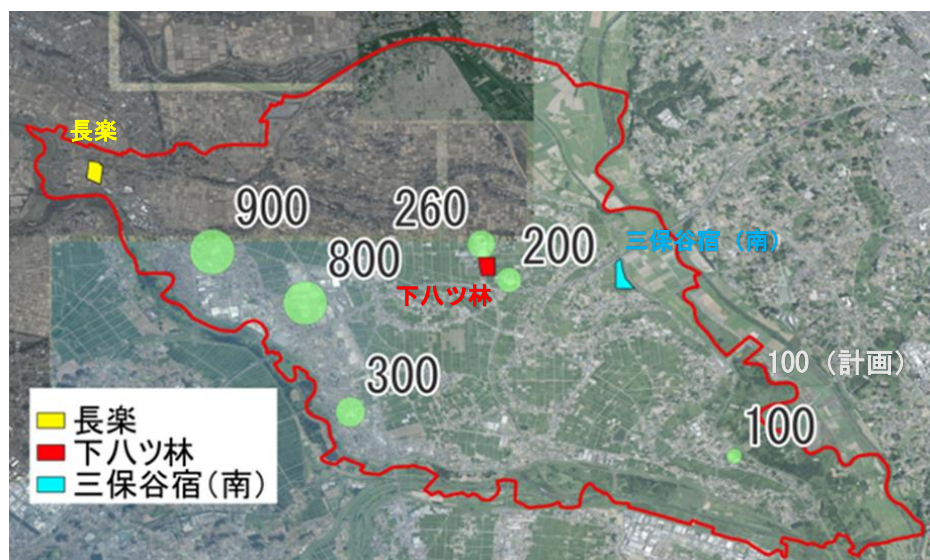
3. 候補地の検討

候補地検討において重要視する項目を基に、町としては水害時においてごみ処理施設敷地を緊急避難場所として活用できることと、災害時におけるごみ搬入の継続性の2点から候補地の検討を行った。

① 川島町の緊急避難場所

川島町では水害時、町外への避難を最優先としているが、町外への避難が困難または逃げ遅れた方のために緊急避難場所を各所に指定している。しかし、東側地域の緊急避難場所は現在、旧出丸小学校（収容人数100人）だけであり、緊急避難場所が希薄となっている。

三保谷宿（南）に、緊急避難場所として利用可能な施設を整備することで収容人数を増加できることから、緊急避難場所が希薄な地域を補完することが可能である。



【町内の緊急避難場所】

番号	施設名称	収容人数
①	中山小学校	900人
②	伊草小学校	300人
③	旧出丸小学校	100人
④	川島中学校	200人
⑤	西中学校	800人
⑥	コミュニティセンター	260人
計画	出丸地区高台避難場所	約100人

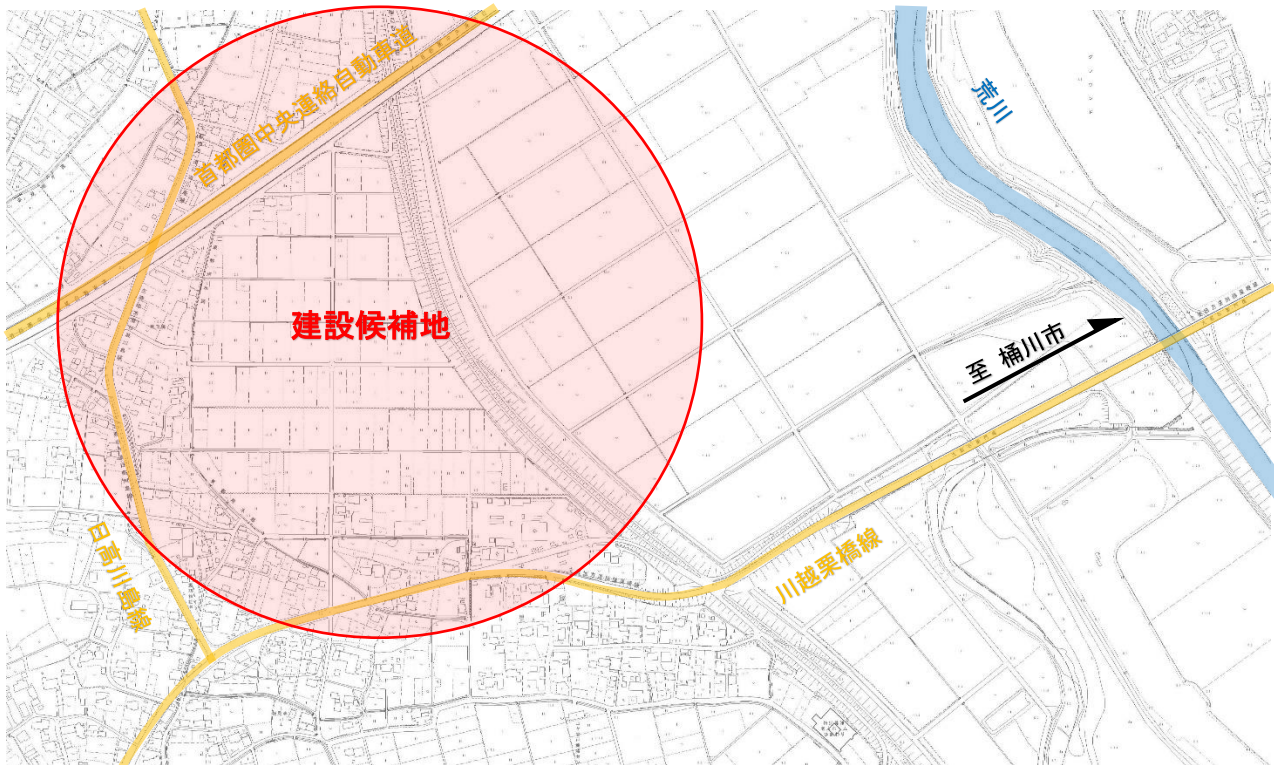
※川島町洪水ハザードマップより

② 建設候補地及び水害時の搬入継続性

三保谷宿（南）は、川島町内が浸水して通行できない場合においても太郎右衛門橋を通行することで、桶川市方面から建設候補地へ継続的なごみの搬入が考えられる。

なお、長楽及び下八ツ林については、荒川及び入間川が氾濫した場合、浸水期間が1日から1週間程度となっていることから、ごみを搬入することができない期間が生じてしまう。

また、三保谷宿（南）は、将来的な盛土により防災上の強化につながる事が考えられる。



4. 結論

川島町一般廃棄物処理施設建設候補地については、三保谷宿（南）とする。

[理由]

- ・ ごみ処理施設敷地を将来的に盛土することにより、水害時の緊急避難場所とし、川島町東側地区の緊急避難場所が希薄な地域を補完することや、防災上の強化につながることを検討できる。
- ・ 水害等の緊急時において、将来的には候補地東側の堤防道路を利用することにより、桶川市方面から建設候補地へ継続的なごみの搬入を検討できる。

これらのことをふまえ、今後、建設候補地に選定された三保谷宿（南）地域へ、丁寧に説明を行っていく。

5. 付帯事項

あわせて、ごみ処理施設に高台避難場所の機能を持たせる。